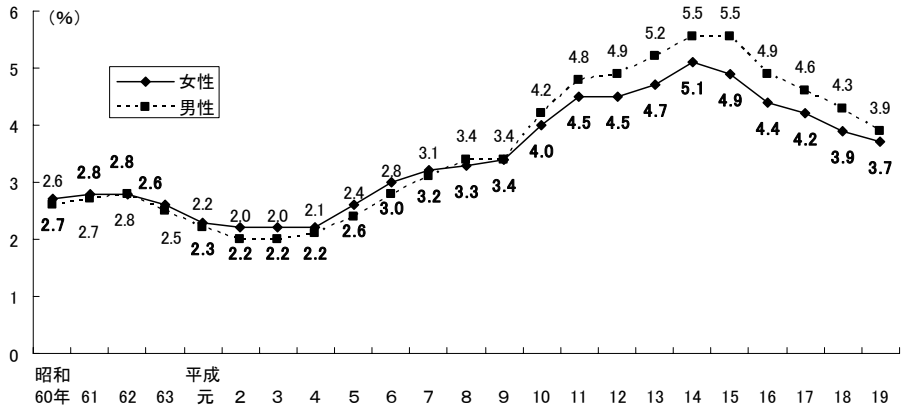
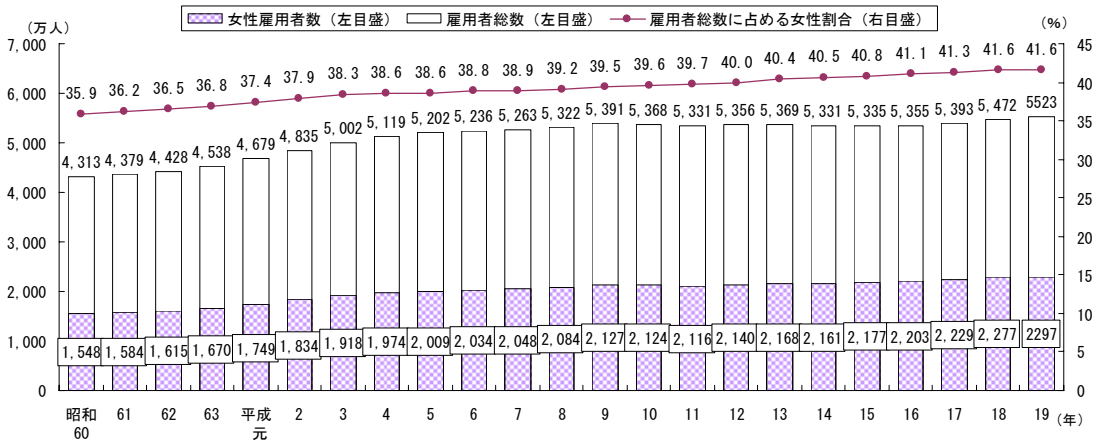


図表 1-1-1 完全失業率の推移



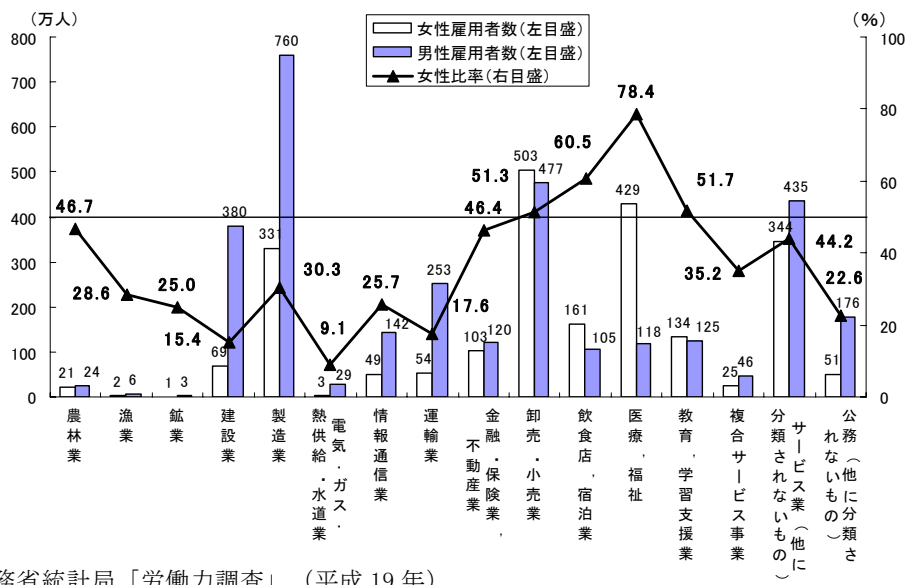
資料出所：総務省統計局「労働力調査」

図表 1-1-3 雇用者数の推移



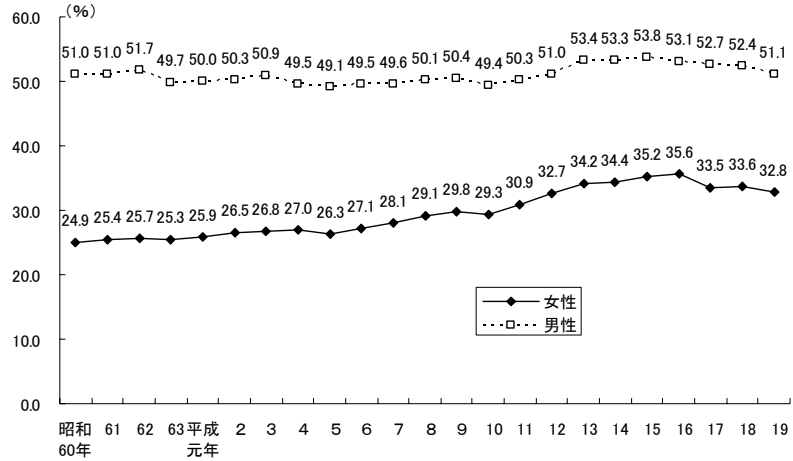
資料出所：総務省統計局「労働力調査」

図表 1-1-4 産業別雇用者数及び女性比率

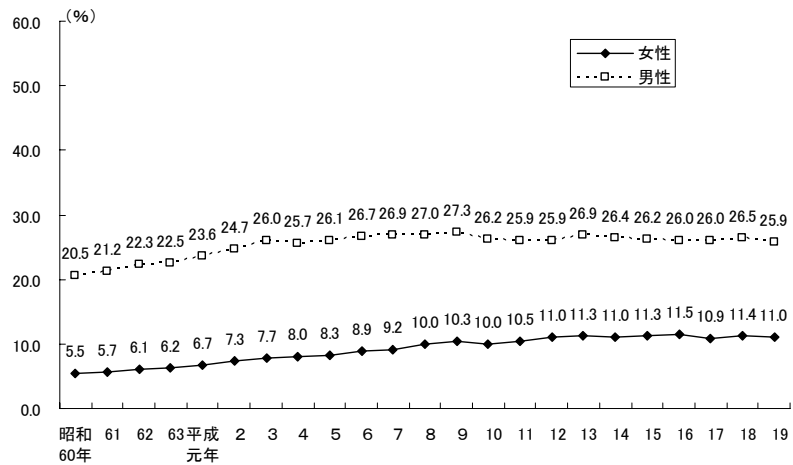


資料出所：総務省統計局「労働力調査」(平成19年)

図表 1-1-6 勤続年数階級別一般労働者構成比の推移
〔勤続 10 年以上〕



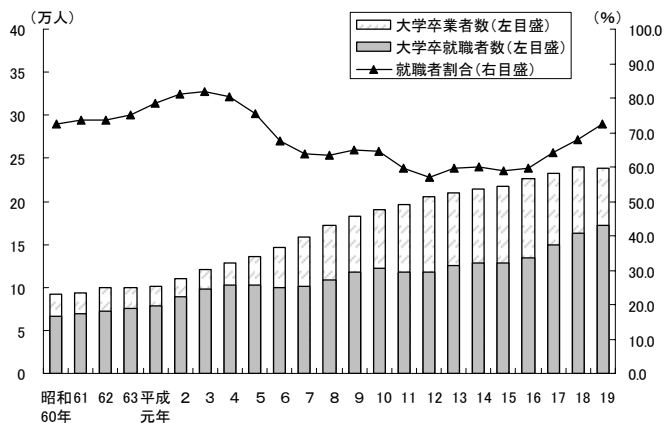
〔勤続 20 年以上〕



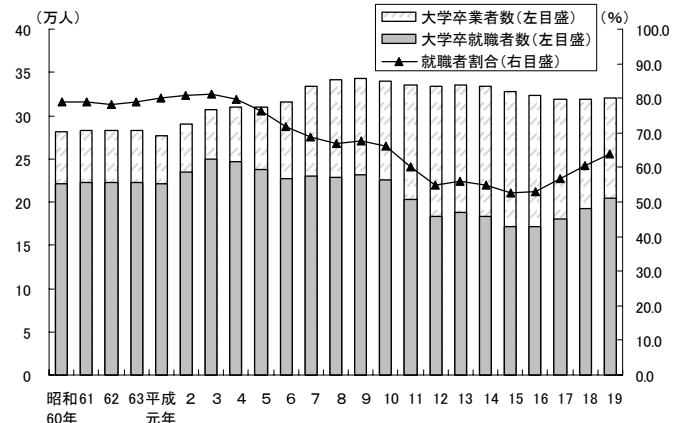
資料出所：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

- (注) 1 「一般労働者」は、常用労働者のうち、「短時間労働者」を除いた者をいう。
 2 「短時間労働者」は、常用労働者のうち、1日の所定内労働時間が一般の労働者よりも短い又は1日の所定労働時間が一般の労働者と同じでも1週の所定労働日数が一般の労働者よりも少ない労働者をいう。平成16年まで「パートタイム労働者」の名称で調査していたが、定義は同じである。
 3 企業規模10人以上
 4 勤続年数計の一般労働者数に占める、勤続10年以上及び勤続20年以上の一般労働者数の割合を算出。

図表 1-1-9 大学卒業者数、就職者数、卒業者に占める就職者割合の推移
〔女性〕

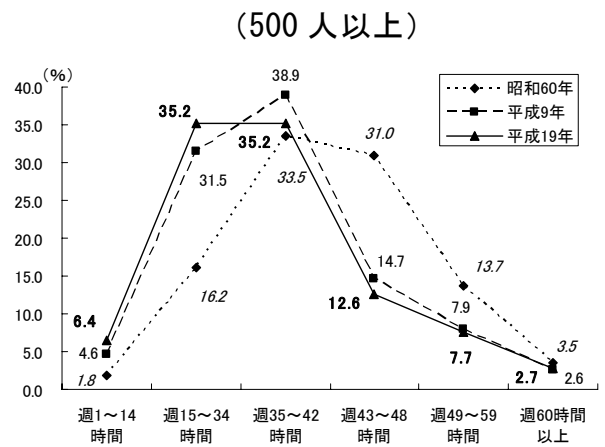
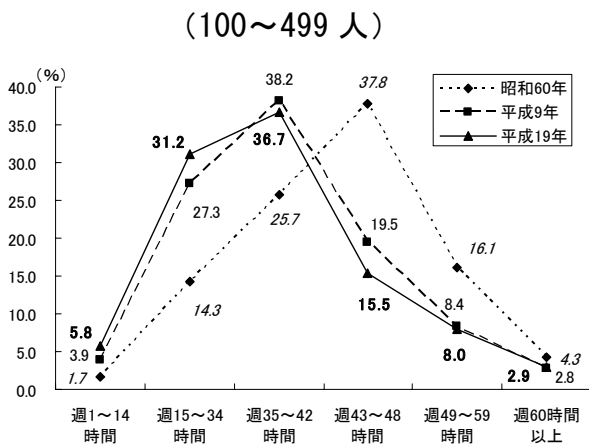
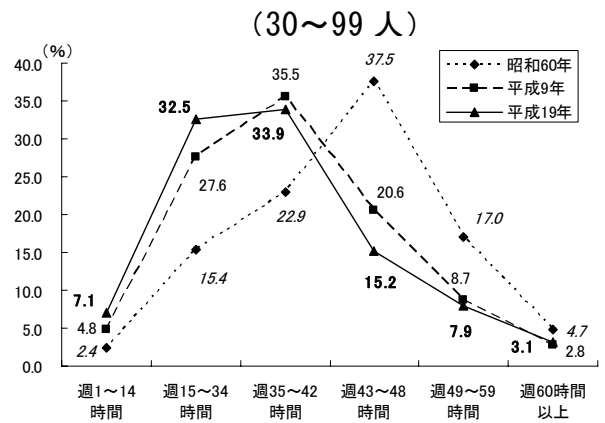
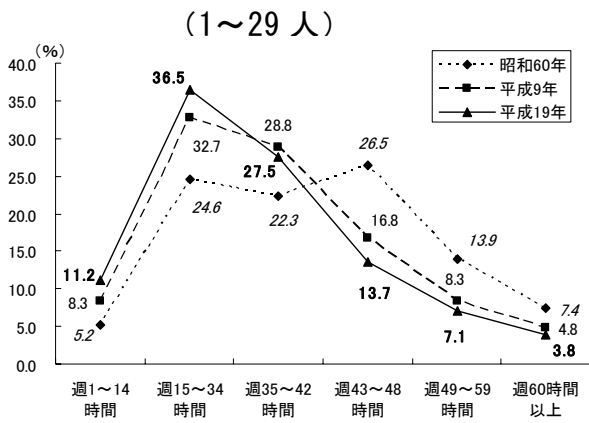


〔男性〕

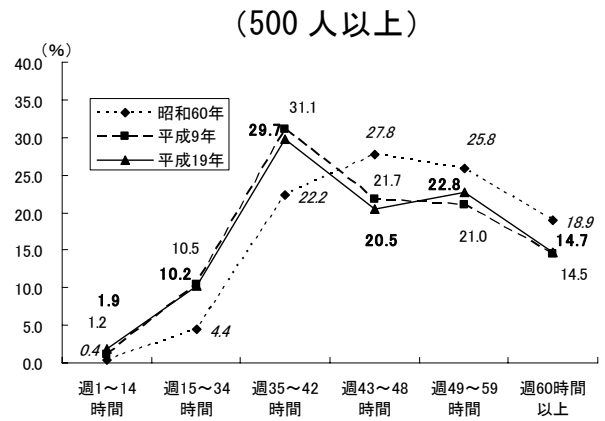
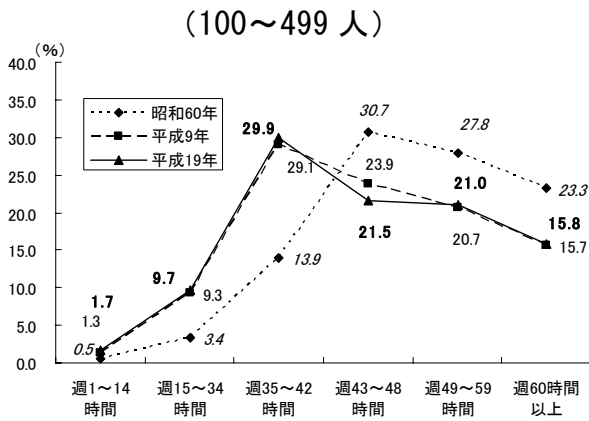
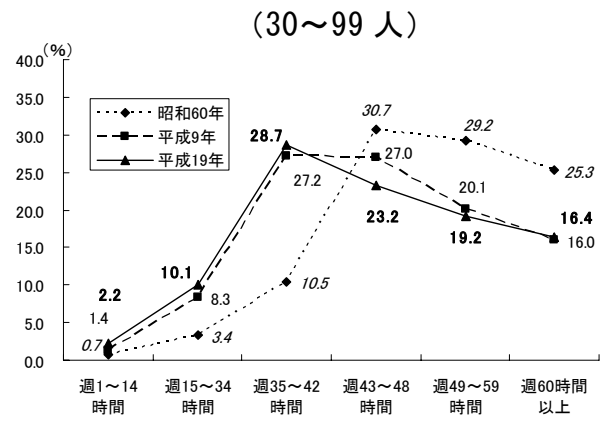
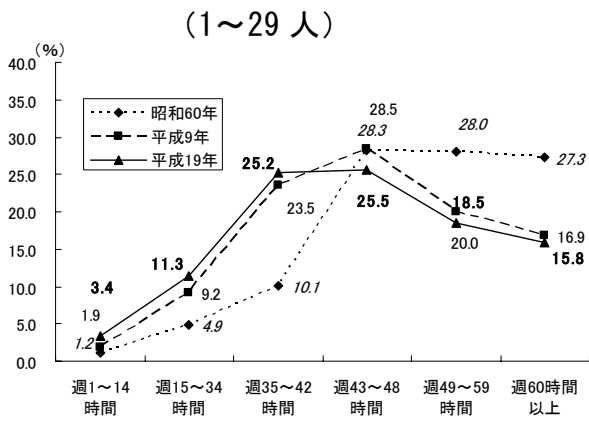


資料出所：文部科学省「学校基本調査」

図表 1-1-16 企業規模別非農林業雇用者の週間就業時間階級別構成比の推移
〔女性〕

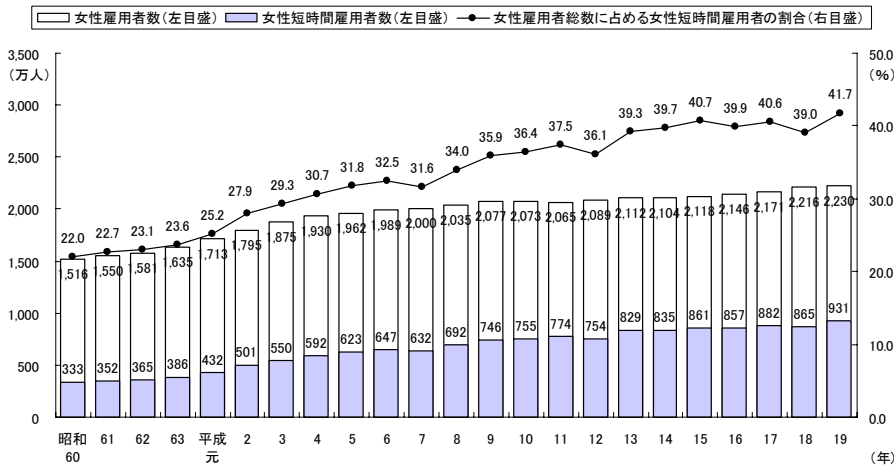


〔男性〕



資料出所：総務省統計局「労働力調査」

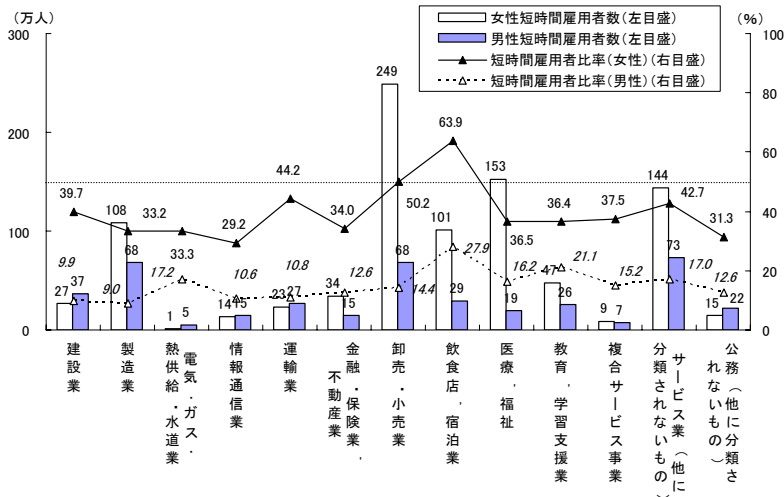
図表 1-1-18 短時間雇用者数及び雇用者総数に占める短時間雇用者の割合の推移〔女性〕



資料出所：総務省統計局
「労働力調査」

- (注) 1 「短時間雇用者」は、非農林業雇用者(休業者を除く。)のうち、週間就業時間 35 時間未満の者をいう。
2 雇用者数は農林業及び休業者を除く。

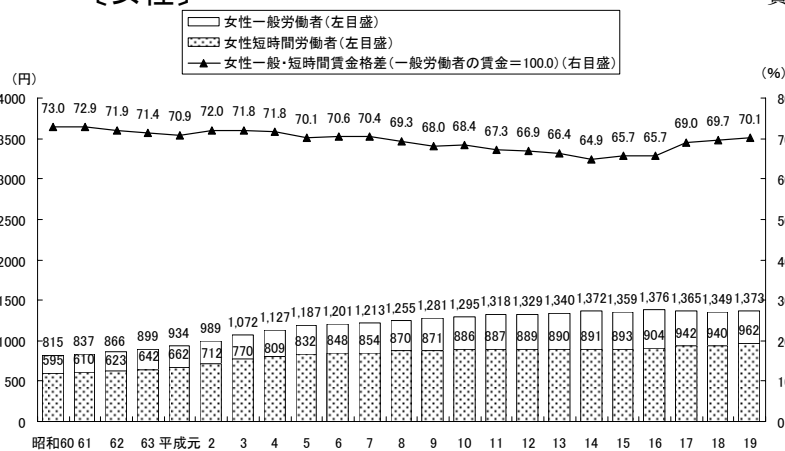
図表 1-1-20 産業別短時間雇用者数及び短時間雇用者比率



資料出所：総務省統計局
「労働力調査」(平成 19 年)

- (注) 「短時間雇用者」は、非農林業雇用者(休業者を除く。)のうち、週間就業時間 35 時間未満の者をいう。

図表 1-1-21 短時間労働者の所定内給与額及び一般労働者との賃金格差の推移〔女性〕



資料出所：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

- (注) 1 「一般労働者」は、常用労働者のうち、「短時間労働者」以外の者をいう。
2 「短時間労働者」は、常用労働者のうち、1日の所定内労働時間が一般の労働者よりも短い又は1日の所定労働時間が一般の労働者と同じでも1週の所定労働日数が一般の労働者よりも少ない労働者をいう。平成 16 年まで「パートタイム労働者」の名称で調査していたが、定義は同じである。
3 企業規模 10 人以上
4 一般労働者の 1 時間当たりの所定内給与額は次の式により算出した。
1 時間当たりの所定内給与額 = $\frac{\text{所定内給与額}}{\text{所定内実労働時間数}}$
5 一般労働者との賃金格差は、一般労働者の 1 時間当たりの所定内給与額を 100.0 とした場合の短時間労働者の 1 時間当たりの所定内給与額を次の式により算出した。 一般労働者との賃金格差 = $\frac{\text{短時間労働者の 1 時間当たり所定内給与額}}{\text{一般労働者の 1 時間当たり所定内給与額}} \times 100$